

# 「鉄労や世間にお詫びする... 資本を倒すことが正しいと思ひやう」

## 日刊 動労千葉

87. 2. 23

No. 2484

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電)二九三五六 (公衆)〇四七二二二七二〇七

### 産業報国会「鉄道労連」を解体・一掃せよ (その2)



中曾根・杉浦は、分割・民営化が大破産に突き進む中で、国鉄労働者の首を切り、国鉄労働者を「地獄」の新会社へたたきこみ、新たな国鉄労働運動解体攻撃にうってでている。動労・鉄労は解散し、「一企業一組合」への十月移行をもって国労・動労千葉をたたきつぶそうとしている。しかし、国労・動労千葉が健在する限りこの狙いは確実に破産する。

自民党・鉄労も

許してくれない

松崎は、二月十七日、動労本部で開かれた動労・鉄労の若手職員懇談会なる席上で「鉄労や世間にお詫びしなければ。これまででは資本を倒すのが正しいと思つてやってきた。しかし、ただ反対すればいいというのは間違いだった」と発言した。

だが、松崎がいくら卑屈にひれふしたところで自民党も鉄労も許してはくれない。国労と動労千葉の解体に失敗した松崎にさらなる屈服をせまり、新たな国労・動労千葉解体に血道をあげることを松崎はつきつけられている。国労・動労千葉解体とひきかえに国鉄内革マル分子の延命を図ったが、いまや松崎は、国鉄労働運動破壊の大罪人として打倒・一掃される最大の危機をむかえているのだ。

怒り、不満さえ認めない

この間の動向に示されている。自民



党と財界のボスどもが一方的に新会社の労働条件を決め、十万人の国鉄労働者の首を切り、九十人もの労働者を死に追いやってきた。その先兵として立ち回ってきた動労革マル松崎は、新会社の労働条件が提示されるや、「動労がかちとった」などと賛美し、ふれまわっていたが、労働条件のあまりのひどさに、これまで新会社に行くことがすべてだと宣伝され屈服に屈服を重ねてきた動労組合員の中にさえも、労働条件が示されるや怒りが渦巻いている。鉄労すら問題があると指摘している新会社の労働条件を松崎は賛美するばかりか「首切り・賃下げは当然だ」と組合員を恫喝している。労働者の権利も主張も、労働者の怒りと不満をも一切認めない、これが松崎の「一企業一組合」である。

鉄道労連中央執行委員会の発足

7月2日の鉄道労連総会で選出された本部役員は、2月6日の第1回中央執行委員会でその職務を次のとおり決めた。

議長 松崎 隆	副議長 山崎 隆	書記 山崎 隆	副書記 山崎 隆	庶務 山崎 隆	副庶務 山崎 隆	総務 山崎 隆	副総務 山崎 隆	労務 山崎 隆	副労務 山崎 隆	経理 山崎 隆	副経理 山崎 隆	庶務 山崎 隆	副庶務 山崎 隆	総務 山崎 隆	副総務 山崎 隆	労務 山崎 隆	副労務 山崎 隆	経理 山崎 隆	副経理 山崎 隆
---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------	----------

松崎を筆頭に動労革マル分子どもが勢揃い  
「革マル鉄道労連」労働者の犠牲のなうごく中報

真国労三万の夢も消え去り、「共産主義と対決する」反共右翼の旗ふりを買つてでたり際限ない裏切りと屈服を重ねてきた松崎は、いまや絶望的に動労解散一企業一組合に突き進んでいるのだ。

全組合員家の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ!